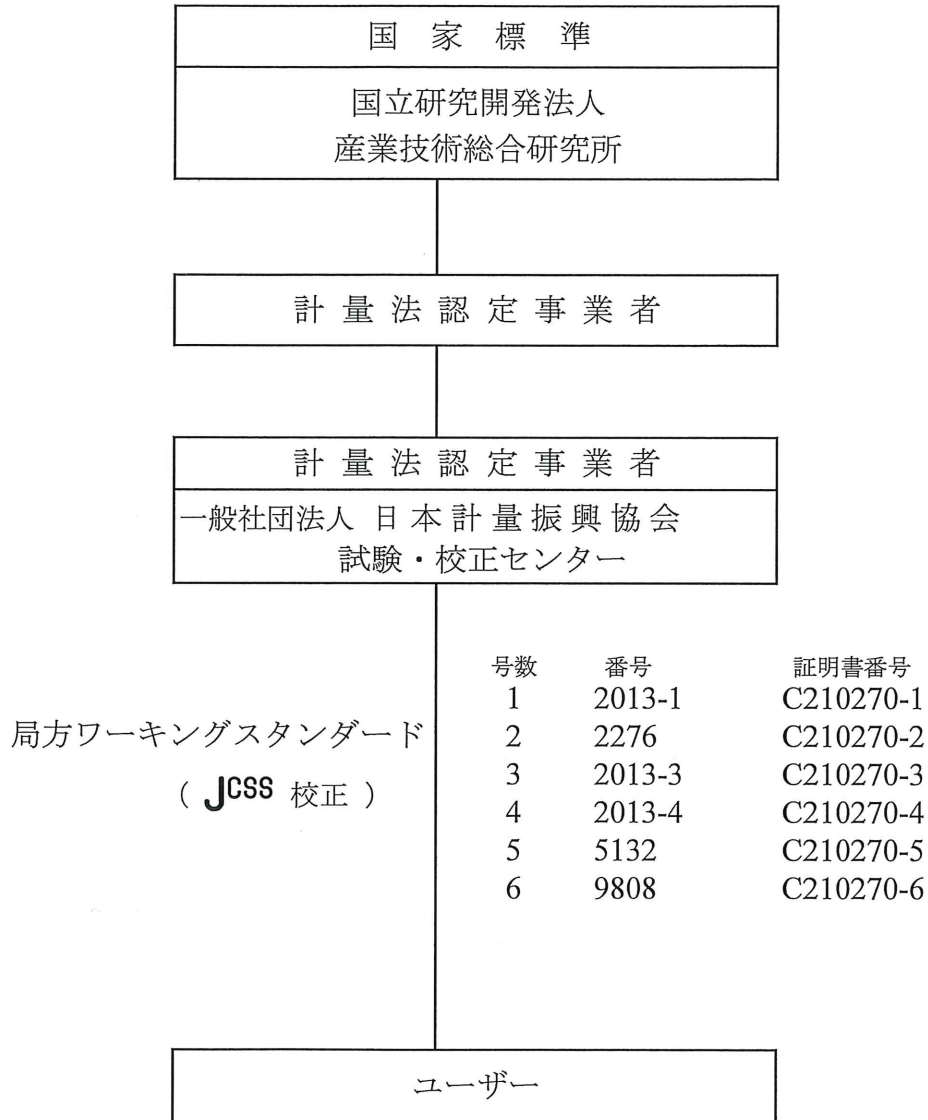


一般社団法人 日本計量振興協会 試験・校正センターにおける
温度のトレーサビリティについて



2022年 月 日

一般社団法人 日本計量振興協会
試験・校正センター



見本

校正証明書

依頼者名
品名 日本薬局方温度計
器物番号
製造者
目盛範囲 $-17^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$
目量 0.2°C
成績書番号 第 号
校正年月日 2022年 月 日

上記器物は、国際標準にトレーサブルな下記の標準器を用いて校正し、合格していることを証明します

校正に使用した局方ワーキングスタンダード

ガラス製棒状温度計（浸没線付） No 2013-1

2022年 月 日

一般社団法人日本計量振興協会
試験・校正





証明書番号 C210270-1

校 正 証 明 書

依 頼 者 名	一般社団法人日本計量振興協会 試験・校正センター
依 頼 者 住 所	東京都新宿区納戸町25番1号
計 量 器 の 名 称	ガラス製棒状温度計(浸没線付)
器 物 番 号	2013-1
製 造 者 名	株式会社東亜計器製作所
型 式	目盛範囲 -17 °C ~ +50 °C 目量 0.2 °C
校 正 項 目	温度
校 正 方 法	試験・校正センター「TP-C-002 校正手順書」に準ずる
校 正 実 施 場 所	東京都新宿区納戸町25番1号 一般社団法人日本計量振興協会(温度計校正室)
受 付 年 月 日	2022年1月18日
校 正 実 施 年 月 日	2022年2月2日

校正の結果は次頁のとおりであることを証明する

2022年2月4日

東京都新宿区納戸町 25 番 1 号
一般社団法人日本計量振興協会
試験・校正センター
センター長 白鳥 慎



この証明書は計量法第 144 条(第一項)に基づくものであり、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな常用参照標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。

当協会の試験・校正センターは、ISO/IEC 17025:2017 (JIS Q 17025:2018) に適合しています。

この証明書は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認) に加盟している IAJapan に認定された校正機関によって発行されています。この校正結果は ILAC/APAC の MRA を通じて、国際的に受け入れ可能です。

証明書番号 C210270-1

校正結果

表す温度 (°C)	補正值 (°C)
-15.00	+0.06
15.00	-0.02
45.00	-0.02

- ・表す温度とは、被校正ガラス温度計の校正の温度目盛をいう。
- ・表す温度の指示すべき温度値は、表す温度に補正值を加えて求める。

校正の拡張不確かさ ($k=2$)

-50 °C ~ -10 °C	0.54 °C
その他の表す温度	0.52 °C

注) 上記の拡張不確かさは、信頼の水準約95%に相当し包含係数 $k=2$ である。

校正条件

- ・校正は、被校正ガラス製温度計を最高温度で30分間アニーリング試験後行った。
- ・校正に使用した温槽
 - 50 °C ~ -10 °Cの温度目盛の校正には、低温槽を使用した。
 - 10 °C ~ 50 °Cの温度目盛の校正には、水温槽を使用した。
- ・校正時の露出部平均温度 20 °C
- ・校正を実施したときの校正室の環境条件
 - 温度 22 °C ~ 23 °C
 - 湿度 27 % ~ 31 %

校正に使用した常用参照標準

- ・ガラス製二重管温度計 (No.1859)
- ・ガラス製二重管温度計 (No.1892)